



SESERAGI—MISHIMA
ROTARY CLUB
WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2017～2018年度 RI会長 イアンH.S.ライズリー
RIテーマ ローターリー:変化をもたらす

クラブテーマ「奉仕・親睦 自分たちにできること」会長 山口辰哉

副会長 石井司人 幹事 宮澤正昭

第1358回 例会
2018.3.9(金)曇

司会:田中錦城君 指揮:服部光弥君
ローターリーソング「我等の生業」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ローターリークラブ

検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 山口辰哉君

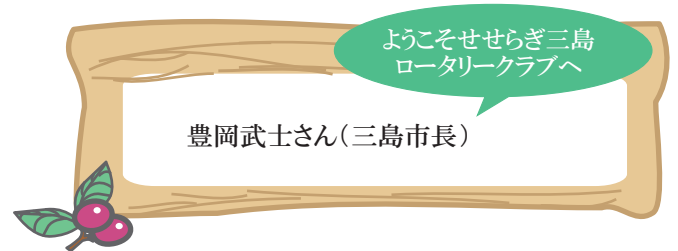
暖かい日寒い日、雨もよく降ります。体調にご留意ください。

今週はいいニュースが入ってきました。そうです、イチローさんの契約です。古巣のマリナーズに決まりました。ギャラなんていくらでもいいんです。メジャー契約で戻るので。シアトルは行ったことのない街です。イチロー自体は2002年の9月11日(同時多発テロの翌年同日の日)、イチローさん2年目をテキサス・アーリントンでのレンジャーズ戦で観たのが最初です。マリナーズの3塁側ベンチ裏で55ドルでした。大魔神佐々木、そして現在大谷が所属しているエンゼルス(当時はアナハイム)からやってきた長谷川がいました。相手のレンジャーズにはアレックス・ロドリゲスがいました。その日はテロからちょうど一年ということもあり、球場内では、同時多発テロで犠牲になった消防隊員の追悼式などが行われました。入場者には全員に「GOD BLESS AMERICA」と胸に小さく書かれたXLサイズの白いTシャツが配られていました。この年のアメリカ行きは予期せぬ形でMLB観戦ツアーになってしまいました。前日の9月10日、JALのサンフランシスコ到着が1時間遅れ、乗継便に間に合わず、翌朝の朝一便に変更。サンフランシスコでの宿泊が決まったので、AT&Tパークでジャイアンツ対ドジャースの試合があることを思い出して観に行きました。といっても事前の予約がないので立見席だけ。9ドルでした。またヒューストン・ミニッツメイドパークでは、アストロズ対セントルイス・カーディナルス戦を観戦。9回に代打で田口が出てきました。そんなことを考えると、今年もそういう年にしたいな、という希望を、いや夢を持つようになりました。シカゴにはダルビッシュが行きました。何度か乗り継ぎで降りたことはありますが、街に出たことはありません。しかし、JALマイルでの空席は見つかりません。いかにして出かけるか、今後の課題です。というか44歳のイチローは現役を捨てません。

伊豆には北条早雲という武将がいました。駿河の国に流れ着いて沼津の興国寺城を与えられたのが55歳の時。その後、伊豆を支配していた堀越公方を滅ぼし、伊豆一円を支配したのは60歳の時であったと言われています。次は小田原ということで奇策をもって攻めたのが64歳の時だ

そうです。今は人生100年時代ともいわれますが、早雲が菫山城で亡くなったのは88歳。それを考えると、人生これからなんでしょう。

さて、今日はどういう日か。1894年のこの日、明治天皇・皇后両陛下御成婚25周年記念の切手が発売された日ということで、記念切手の日だそうです。また、1958年には関門国道トンネルが開通したでもあるそうです。因みに明日10日は東京大空襲の日、明後日11日はご承知の通り東日本大震災の起きた日です。



出 | 席 | 報 | 告 |

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	24/31	79.42%	28/31	90.32%
今回	24/33	72.73%	会員総数	36名
欠席者	あなたが見えなくて残念でした。			

遠藤君、大村君、篠木君、杉山(順)君、鈴木君、中本君、矢岸君、山本君、渡邊君

(*出席免除会員の欠席者 片野君、鈴木君、山口(雅)君)



スマイルボックス

石井司人君:春の雨は時として激しくなることがあります。昨夜は農園の野菜の苗たちの事が心配でねむりが浅くなりました。

中山和雄君:ほかの行事と重なることが多くなる時期となり例会を休むことが多くなりました。すみません。今日久しぶりに早く11時には例会場に来ましたがすぐに藤川君が来て例会は休むが準備に来ましたといい、今日休みの会員を確認しテーブルの食事の数をチェックし、また今日の卓話のプロジェクターの準備などすべて完璧に終わらせ後はお願いします、と仕事にでかけました。我がクラブも藤川君に入会していただき大変な財産を得た気がいたします。

卓話 平成30年度 三島市 市政概要と主要事業

三島市長 豊岡 武士さん

【人口動態とその影響】

○2016年は、マイナス傾向が続いていた社会増減がプラスに転じた。子育て世帯の流入が主要因

○2040年には、三島市での老年人口割合は37%に増加する一方で、生産年齢人口は53%へ減少すると予想される

○少子高齢・人口減少で予想される影響

- ・住民税など個人関連の税収の減少
- ・社会保障関連経費の増大に伴う働く世代の負担増
- ・郊外に住む住民の高齢化と生活利便性の低下
- ・企業立地や雇用環境への影響

○三島市として、これらの影響を回避するための施策が重要

【住むなら三島総合戦略推進の基本方針】

若者の結婚から子育てまでの希望をかなえ、魅力的で品格あるひとづくり・まちづくりを進め、幅広い世代の方々や企業から「選ばれる都市」を目指す。

- ①三島市にこころをつくり、安心して働けるようにする
- ②三島市への新しいひとの流れをつくる
- ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④時代に合った魅力的なまちをつくる

【平成30年度三島市市政概要と主要事業】

「第4次三島市総合計画」に掲げている「せせらぎと緑と元気あふれる協働のまち・三島～環境と食を大切に～」を理想に、「ガーデンシティ」「スマートウェルネス」「コミュニティ」の「三島市版・三本の矢」も呼べる三つの基本方針のもと、住むなら三島総合戦略との相乗効果により、未来の三島市の姿を見据え、三ツ谷工業団地の造成完了と企業誘致、三島駅南口の再開発の二つを最重要施策として邁進するとともに、防災・減災対策や子育て支援の充実強化、働く場や居住場所の確保など、「元気・安心・希望あふれる三島」の創造を目指し、チーム三島の総力を結集し、平成30年度の予算編成の基本方針を

○ガーデンシティを活かした都市基盤整備による賑わうまちづくりと活力みなぎる産業の創造

○スマートウェルネスで育む健康な暮らしの実現と夢が高まり未来へ翔たく教育・文化の推進

○コミュニティで創る誰にも優しい「安全・安心なまちづくりと笑顔あふれる子育て・福祉の充実

と定め、三島の持つ可能性を更に引き出し、未来の発展につなげる予算配分を行った。

第1 ガーデンシティを活かした都市基盤整備による、賑わうまちづくりと活力みなぎる産業の創造

「ガーデンシティみしまの推進」により、花を通して市民一人ひとりが主役となり、個人・地域・企業のつながりの中で、美しく品格のあるまちづくりを進めるとともに、「産業の創造」に向け、三ツ谷工業団地土地地区画整理事業や、東を広域健康医療拠点、西を広域観光交流拠点とする三島駅南口再開発事業などを鋭意進めるとともに、源兵衛川や清住緑地を始めとする多くの観光・自然資源を活かしながら、農工商産学官の連携による更なる発展に努める。

【三ツ谷地区新たな産業拠点整備事業】(企業立地推進課)

●東駿河湾環状道路三島塚原 ICから車で4分、国道1号沿線三ツ谷新田地区(約21ヘクタール)に、新たな工業団地の整備を進める。

●平成28年3月に市街化区域編入の都市計画決定、8月に組合設立、10月に造成着手。平成30年秋の工事完了を予定。

●分譲計画全6区画については、5区画への進出企業が年内定済み。約1,000人の新規雇用を見込む。

【三島駅南口東街区再開発事業】(三島駅周辺整備推進課)

◆事業の経過

昭和62年から検討を開始、平成9年に国鉄清算事業団から事業用地を取得。平成23年、震災等の影響で計画が一旦白紙に。その後、「グラン

ドデザイン」を策定。

◆三島駅周辺グランドデザインについて

◆事業の内容

〈東街区〉組合施行の再開発として、医療・健康づくり・子育て支援機能も兼ね備えた商業の集積、安全で快適な住環境といった賑わいと経済の活性化を開発コンセプトに、地権者、事業者、市が一体となって整備する。〈西街区〉ホテルを核とする「広域観光交流拠点」に相応しい施設整備を進める。

◆平成30年度の取り組み

〈東街区〉事業協力者と事業化に向けた本格的な検討に着手し、事業計画案の精査や、関係権利者のより一層の理解促進・合意形成に努め、事業化に向けた大きな節目である都市計画決定に向けた取り組みを進める。

〈西街区〉「広域観光交流拠点」を整備する東急が、ホテル工事を進める。また、駐輪場は、広域観光交流拠点整備事業に伴い、平成30年10月供用開始を目標に整備を行う。

【観光振興】(商工観光課)

●観光振興事業

観光交流客数や交流人口の増加を目指し、三島市観光戦略アクションプラン(H29～H32)に基づき、観光客等に対する快適性の向上に資する施策や観光情報の積極的なPRを実施するとともに、観光関連施設の維持管理を行う。

【スポーツ・文化による産業振興】(商工観光課)

●静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会

平成26年1月に県が事務局となり設立。東部の20市町と民間、各種団体、個人等の約80の会員で構成。平成27年度からは三島市が事務局を引き継いでいる。スポーツを切り口とした地域活性、産業振興を推進。伊豆でのオリンピック開催を見据えたサイクル部会、合宿や大会の誘致を目指す合宿部会、東レアローズやアスクラロ沼津と連携して地域活性を目指すクラブスポーツ部会に加え、インバウンドも見据えて伊豆のアウトドア活用を推進するアウトドアスポーツ部会の4部会で活動を展開する。

●三島市スポーツ・文化コミッション

平成27年3月に市単独のコミッションとして設立。

市内で実施できる大会やイベントの誘致・支援を行っている。広域にかかる案件については、E-Spoと連携する。平成27年度にスポーツ庁の補助金を活用した事業を実施し、その実績からホストタウンにも登録された。女子プロゴルフや大相撲巡業もコミッションでサポートしている。

●東京オリパラ文化プログラム推進事業(文化振興課)

三島市クリエイティブファクトリーディレクターを核として、クリエイター等を対象とした企画会議や職員を対象とした研修会を実施するほか、国内外で活躍する静岡県舞台芸術センター(SPAC)による未就学児へのアウトリーチ事業、地元アーティストを活用したワークショップ等を展開する。第2 市民協働で取り組むスポーツ・スマートウェルネスが育む健康と個性輝く教育・文化の創造

「スマートウェルネスみしまの推進」により、健康づくりを通して、いきがいづくりやきずなづくりを支え、健康づくりと地域づくりの好循環を図るとともに、「教育・文化の推進」に向け、ICTを活用し小学校4校と全中学校にタブレットパソコンを設置するほか、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を見据え、英語力強化のための英検補助事業や東京オリパラ文化プログラム推進事業などに取り組むとともに、歴史的風致維持向上計画推進事業などを通して、三島の魅力を全国に発信する。

第3 コミュニティの絆で生み出す確かな地域防災力と幸福を実感できる子育て・福祉の充実

市民活動推進事業などを通して「コミュニティ」づくりとシビックプライドの醸成を支えるとともに、「安全・安心なまちづくり」実現のため、中学校非構造部の耐震化や第3分団詰所建設に向けた用地の取得、各種ハザードマップを作成するなど、防災・減災に努めるほか、「子育て・福祉の充実」に向け、放課後児童クラブの新設や移設、子ども医療費の支給範囲の拡大、街中で子育て支援事業の助成などとともに、住むなら三島総合戦略のもと、移住・定住の促進を図っていく。